

学校法人 東京聖徳学園

聖徳フラッシュ

第123号

令和4年12月1日

発行

学校法人 東京聖徳学園  
〒108-0073 東京都港区三田3-4-28  
TEL.03-5476-8811(代)



SEITOKU

聖徳学園ホームページ

https://www.seitoku-u.ac.jp/gakuen/

- 聖徳大学大学院
- 聖徳大学附属小学校
- 聖徳大学教職大学院
- 聖徳大学附属幼稚園
- 聖徳大学短期大学部
- 聖徳大学附属第二幼稚園
- 聖徳大学幼児教育専門学校
- 聖徳大学附属成田幼稚園
- 光英VERITAS高等学校
- 聖徳大学附属浦安幼稚園
- 聖徳大学附属取手聖徳女子高等学校
- 聖徳大学三田幼稚園
- 光英VERITAS中学校
- 聖徳大学八王子幼稚園
- 聖徳大学附属取手聖徳女子中学校
- 聖徳大学多摩幼稚園

# 聖徳フラッシュ

聖徳大学児童学研究所・聖徳大学生涯学習研究所主催

## アートパーク15

### 伝説のクリエイティブ魂

INDEX

- ▼ 園児教育専門学校……………5
- ▼ 幼稚園……………6
- ▼ 小中学校……………6
- ▼ 聖徳大学短大……………2, 4, 5
- ▼ 光英VERITAS中・高……………5
- ▼ 聖徳大学女子中・高……………6
- ▼ インフォメーション……………6, 7
- ▼ 大学院……………8



「ワァーライオン」

十月十六日(日)、松戸中央公園で「アートパーク15」伝説のクリエイティブ魂」(主催 聖徳大学児童学研究所、聖徳大学生涯学習研究所)を開催しました。今回は公園全体を使い、十三の作品展示と体験型のワークショップを行いました。当日は、約千二百名の親子参加があり、感染拡大対策も十分に行った上で実施しました。



「森のすいぞくかん」

四月からオンライン会議を重ね、大学からは児童学科の各ゼミ(大成哲雄ゼミ、関口明子ゼミ、西園政史ゼミ、祓川摩有ゼミ)と児童文化コース有志など、短期大学部保育科からは永井妙子教授、北沢昌代准教授のグループが参加しました。地域からは保育園、松戸市内にある中学校美術部有志、まちづくり団体児童館アーツイストなど六団体が参加して実施に至りました。



「子どもの木」

大成ゼミでは、ダンボール製のライオン「ワァーライオン」の下でダンボールを積んだりつなげたりして遊んだ後、絵の具遊びを三年ぶりに行いました。関口ゼミは今年も手作り楽器を演奏しました。祓川ゼミは食育のクイズをスタンプリール「野菜マスターをめざせ!」を行い、西園ゼミはオリジナルの海の生き物を作って公園に飾る「森のすいぞくかん」を行いました。北沢Grは地域の保育園と協力して公園の木を子どもたちの作品で変身させ「子どもの木」を作りました。永井Grは身近な材料を使って遊べる場「あそぼうあそぼう」を作りました。

「アートパーク」は今後も地域と連携し、公園を核に学生、市民が楽しめるアートプロジェクトとしてさらに発展させていきます。

## 速報

二〇二二年度  
児童学部児童学科  
小学校教員養成コース 快挙達成!  
教員採用試験の  
二次試験合格率  
97%

児童学部児童学科(本年より教育学部教育学科)小学校教員養成コースの学生が受験した、今年度の教員採用試験結果が発表されました。今年度は三十三名の学生が受験し、一次試験合格者が三十名(一次合格率九十一%)、そのうち二次試験合格者が二十八名(辞退一名)と二次試験合格率九十七%を達成しました。二十八名は来年四月から小学校教員として教壇に立ち

ます。本学では教職実践センターが中心となり、教員を目指す学生を対象に教員採用試験対策特別講座を三年次の十一月から採用試験が終了するまで一年間にわたって実施しています。この特別講座は、教育課程の授業とは別に本学独自の教員採用試験対策として実施されています。一次試験対策では、主に教員採用試験を想定した模擬試験(通称

ME)や一般教養科目と教職教養科目の講座を実施しています。二次試験対策では、現場経験豊富な教授による個人・集団面接、集団討論の練習を行います。過去の受験者データをもとに都府県ごとに練習を重ねていきます。また、同じ地域を受験する学生同士で情報共有を行い教員採用試験に向けて互いに励まし合いながら夢の実現に向けて取り組んでいます。

合計	その他の県	新潟県	栃木県	神奈川県	茨城県	埼玉県	千葉県	東京都	合格者数(入)
28 (33)	0 (1)	2 (2)	1 (1)	1 (1)	1 (1)	3 (3)	12 (15)	8 (9)	

注:カッコの数字は志望者数。東京都は一次試験全員合格、その内1名は二次試験辞退。

## 成女高等学校と高大連携に関する協定を締結



協定を交わす小泉潤校長(左)と川並弘純学長(右)

聖徳大学ならびに聖徳大学短期大学部は、九月二十八日(水)、成女高等学校(小泉潤校長)と高大連携に関する協定を締結しました。

成女高等学校は、明治三十二年の建学から一貫して「社会で活躍できる自律・自立した人材」の育成を教育方針とし、「キャリア教育」に力を注いでいます。また、キャリア教育の中心として、大学での学びを六分野に分けた自主研究ゼミを設置し、進路に結びつけた探究活動を実践しています。

今回の協定締結は、キャリア教育の中心となる自主研究ゼミにおいて、家政・幼児教育分野を扱う「生活ゼミ」を通して連携事業を進めることを主な目的とするものです。締結式において、川並弘純学長は「本学にとって私立学校との協定締結はこれが初めてとなる。これから顔の見えるもつと深い交流ができることにより、高大連携のあり方を含めて意欲的な取り組みができるものと期待している」、小泉潤校長は「この連携によって、生徒たちが得意分野を生かしていくことが現実として教育の中に取り込まれていくと思う。そして、『自分はいかにできるから自信をもって社会に出ていける』という人材育成につなげていきたい」と展望を述べました。



# 令和四年度 秋期学位記授与式・卒業証書学位記授与式を挙行

九月十七日(土)、聖徳大学川並香順記念講堂において、令和四年度秋期聖徳大学大学院学位記授与式、聖徳大学卒業証書学位記授与式、聖徳大学短期大学部卒業証書学位記授与式が挙行されました。

野田聖子名誉学長への名誉博士号をはじめ、大学院十名(うち通信課程八名)、大学百四十六名(うち通信課程百十一名)、短大十四名(うち通信課程十一名)、計百七十名に学位記、卒業証書学位記が授与されました。



学位記授与

川並弘純学長は「本学で得た知識をもとに自ら考え行動して行ってほしい。今後も職業人や研究者として更なる精進をし、その成果が社会で還元されていくことを祈っています」とはなむけの言葉を贈りました。



川並弘純学長の告辞

式終了後は、通学課程・通信課程ともに会場を教室に移し、各研究科長・学部長・学科長が改めて祝辞を述べ、学位記や卒業証書が授与されました。

多年にわたり教育分野において、千葉県発展に貢献したとして、十一月三日(木)、文化の日千葉県功労者表彰を受けました。

## 令和四年度 文化の日千葉県功労者表彰

### 《教育功労》

学校法人東京聖徳学園常務理事  
聖徳大学附属中学校・高等学校統括校長  
光英VERITAS中学校・高等学校校長



川並芳純 先生

## 聖徳大学海外研修報告

本学では、建学の精神「和」に基づく人間教育の一環として、海外研修旅行を行っています。グローバル化する社会でも対応できる人間性や協調性を高めることを目的とし、各学科またはコースごとに異なるプログラムを実施しています。今回は、児童学部児童学科と文学部文学科の研修旅行の一部を紹介します。

### 児童学部児童学科 ヨーロッパ研修旅行

九月八日(木)からの十日間、小学校教員養成コース、特別支援教育コース、スポーツ健康コースの学生がイギリスで研修を行いました。ここ二年間、新型コロナウイルスの影響で実施ができなかった海外研修が、今年度いよいよ復活しました。今回、折しもエリザベス女王の訃報と重なって観光に制限があったものの、学校訪問などは全て予定どおり実施されました。



スコットランドの正装キルトを着た児童と記念撮影

#### 「エンジンバラ」

☆ジョージ・ワトソンズ・カレッジでの交流体験  
ヨーロッパでも一、二を争うほどの大規模校である

ジョージ・ワトソンズ・カレッジを訪問しました。校門をくぐると、バグパイプのメロディーが聴こえてきました。代表児童が二名、スコットランドの正装キルトを着て、出迎えてくれました。コースごとに、校内を見学しながら英国の教育を学び、子どもたちと折り紙を折って交流しました。

#### 「ロンドン」

☆セント・ビンセント・カトリック・プライマリ・スクールでの交流体験  
ロンドンでは、コースごとに学校訪問をしました。



全校集会で日本の歌を披露している様子

小学校教員養成コースはセント・ビンセント・カトリック・プライマリ・スクールを見学しました。学生たちは英語にも慣れ、遊びや給食などを通して、子どもたちと多くの交流ができました。午後は、全校集会で日本の歌『もみじ』を披露し、手をとって『幸せなら手をたたこう』を披露し、日英合唱で大変盛り上がりました。

#### ☆キャッスルバー 特別支援学校での交流体験

特別支援教育コースは、自閉症の教育で有名なキャッスルバー・スクールに行きました。学生たちは一人ずつ、子どもたちと交流する機会を持つことで、自閉症は視覚的な支援が有効であることを体験できました。



参加者全員での記念撮影

### 文学部文学科 カナダ語学研修

八月四日(木)から二十七日間、英語・英文コース、教養デザインコースの学生がカナダのプリンス・エドワード・アイランド大学で語学研修を受けました。

プリンス・エドワード・アイランド大学は、カナダ東海岸プリンス・エドワード・アイランドの州都であるシヤロットタウンに広大な敷地を有する州立大学です。二百年以上の歴史があり、世界七十カ国以上から留学生が集う国際色豊かな大学



プリンス・エドワード・アイランド大学の学生と一緒に

で、本学は令和三年に留学生の受け入れや両大学の異文化理解の促進を目的とした交流協定を締結しました。研修中は、Bernadine Hallと言う学生寮に滞在し、

現地の教師や学生、スタッフと英語で交流しながら過ごしました。平日の午前中は、大学付属語学学校であるEnglish Academic Preparation (EAP) が主催する語学プログラムを、レベル分け試験を受けた上で受講しました。授業ではカナダの歴史や文化を英語で学び、自ら調査した内容を英語で発表しました。さらに買い物やレストランでの注文など、実用的に英語を使う機会にも恵まれ、学生からは今後英語を学ぶモチベーションにつながったとの声が多くありました。



「赤毛のアン」を再現した家の前

平日の午後や週末は、スポーツやゲームなどのアクティビティに参加しました。ミュージカル『赤毛のアン』の観覧では、英語で物語を楽しみながら、最高の演技や音楽と、それを称賛する観客のスタンディングオベーションに感動していました。週末は『赤毛のアン』のゆかりの地であるキャベンディッシュやビーチを訪れ、カナダの豊かな大自然や、アンの世界観を再現した家では、作者が使ったタイプライターで物語の世界を体感するなど現地ならではの貴重な体験ができました。

この研修を通じて身につけた語学力と異文化体験は、今後の人生を豊かにするものとなりました。



看護学部 だより

看護学部の学業とアスリートの両立を目指して

看護学部には、日本アスリート選考会の出場資格を持つアスリートが在籍しています。二年生の宮坂茉優さんです。本学の他学科では陸上などで活躍するアスリートが在籍していますが、看護学部では初めてのことで、実習や演習で勉学に時間を割くことが多い看護学部としての生活を両立している様子を紹介します。



宮坂さんは、ジュニアの頃から国内のアスリート選考会出場資格を得て、アスリートとして活躍しています。今年、これまで全ての国内大会に出場し、八月に行われた、日本水泳連盟主催のチャレンジカップの競技では四十二組中、八位入賞を果たし、日本代表選手選考会出場資格を取得しました。また、九月には第九十八回日本学生選手権水泳競技大会ソロ競技に出場しました。競技開始のホイッスルに合わせ陸上演技でポーズを取り、音楽に合わせて軽やかに飛び込み、滑らかな手足の動き、ダイナミックなジャンプと、豊かな指先の表情と足技が光る演技でした。

アスリートとして高い目標を目指す夢と、看護師になる夢を同時に追い続ける宮坂さん。今は学業の目標を優先して勉強に集中しながらも、競技の目標は「自己最高得点の八十点を越えることです」と話しています。学業とアスリート、今後の活躍に期待しています。



文学部の必修授業には、体験型授業「RE科目」があります。「RE」(Reality Experience)は、人生におけるとても貴重な本質的な体験を通じた知を育むことを意味しています。今回は「一流のホスピタリティを訪ねてI」としてエアライン業界のホスピタリティについて学ぶため、七月一日(金)、JALのスカイミュージアムにおいて学外授業を行いました。コロナ禍で見学がしばらく中止されていたこともあり、当日はこの授業を履修している一年生の他に、エアライン業界に興味のある二、三年生も参加しました。館内にはJALの史料が展示されていて、航空の歴史について学ぶことができました。歴代CAの制服が展示されているコーナーでは、いつの時代も洗練されたCAの姿とその役割について知ることができました。航空会社で働く人の職種と仕事については、館内に設置されたデジタルガイドで学んでいきました。

文学部「RE科目」授業の活動報告

パイロットについて解説しているコーナーでは、コックピット席に座る体験もできました。その後、移動した格納庫では、飛行機のすぐ近くまで行き、整備士が使う工具を見て、最新の飛行機の構造についての説明を聞きま



した。学生たちからは「航空業界についてよく理解できた」と感想が聞かれました。最後に、目の前の滑走路から離陸する飛行機を眺め、様々な職種の方々に支えられてフライトが成り立っていることを肌で感じた一日となりました。



もから高齢者まで、幅広い世代の方がお越しください、二日間約二百名の方が来場しました。幼児向けに絵本の読み聞かせをしたほか、来場者へのお土産に、手作りの常盤平植物マップとしおりを差し上げました。

人間栄養学部

栄養ワンダー2022に参加しました

八月二十一日(日)・十一月六日(日)、オープンキャンパスと併行して公益社団法人日本栄養士会企画の「栄養ワンダー2022」を開催しました。このイベントは、栄養の知識の啓蒙と栄養士・管理栄養士の社会的役割を認識してもらうことを目的とし、全国各地で開催されています。本学人間栄養学部では、「栄養と環境」をテーマに、サステナブルに食糧にすることについて取り組みました。

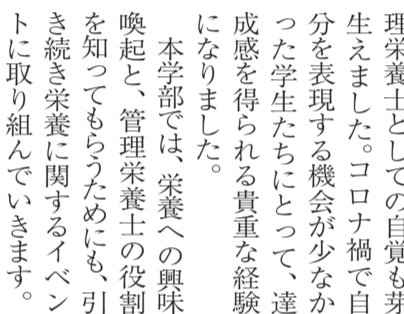
当日は、大学三・四年生の学生スタッフが、管理栄養士が関わるSDGsや、授業



で取り入れているエコメーター、エコクッキングの説明をしました。そのほか、野菜やおかずの適量を知ってもらうために、料理カードを使ったクイズなども行いました。



この活動を通して、学生は栄養に関する話題について一般の方がどのように理解しているかを体験することができ、来場者には管理栄養士が根拠を持った説明ができる専門職であることを知ってもらうきっかけになりました。また、自分の言葉で説明することで管



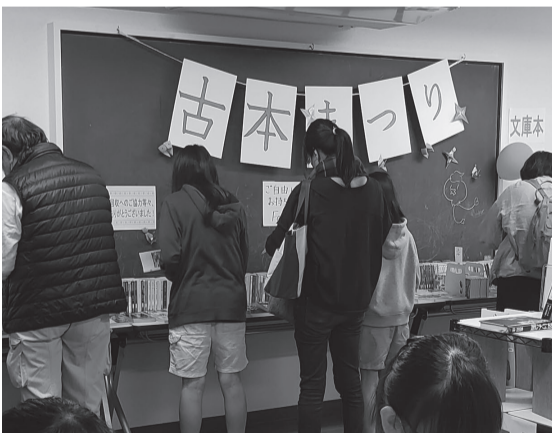
理栄養士としての自覚も芽生えました。コロナ禍で自分を表現する機会が少なかった学生たちにとって、達成感を得られる貴重な経験になりました。本学部では、栄養への興味喚起と、管理栄養士の役割を知ってもらうためにも、引き続き栄養に関するイベントに取り組んでいきます。

聖徳大学短期大学部 総合文化学科 だより

UR常盤平団地で古本まつりを開催しました!

短期大学部総合文化学科では、授業の中で地域貢献活動に取り組んでいます。その一環として、十月二十二日(土)、二十三日(日)に、UR常盤平団地中央集会所にて古本まつり&読み聞かせを開催しました。

常盤平団地自治会の全面的な協力のもと、二か所に回収ボックスを設置し、団地で毎月発行しているとさわだいら新聞の紙面で何度も古本回収を呼びかけ古本回収を実施しました。



その結果、ワゴン車で三台ほどの古本が回収でき、大学で学生が脱臭やほこり



を払うなどの準備をしました。古本まつり当日は、古本を文庫本、単行本、実用書、全集、マンガ、絵本などに仕分けをして陳列し、自由にお持ち帰りいただきました。開場と同時に来場者が訪れ、期待の大きさが感じられました。小さな子ど

もから高齢者まで、幅広い世代の方がお越しください、二日間約二百名の方が来場しました。幼児向けに絵本の読み聞かせをしたほか、来場者へのお土産に、手作りの常盤平植物マップとしおりを差し上げました。

来場者アンケートでは、「また開催してください」「読みたかった本が手に入った」「嬉しいですね」などの感想が寄せられました。この企画は、本学とUR都市機構で締結している連携協定の一環として来年度も継続する予定です。



# 聖徳大学・千葉県教育委員会共催 特別支援教育フォーラム2022

十月二十九日(土)、聖徳大学と千葉県教育委員会の共催による「特別支援教育フォーラム2022」を本学にて開催しました。今年度は「特別支援教育の未来を考える」ICTで特別支援教育が変わる！と題して実施しました。

開会の挨拶の中で、川並弘純学長は「第六回目を迎えたフォーラムを対面やオンライン、手話通訳付きという三つの形式で実施する意義や、本学が特別支援教育の充実を重点の一つとしている」と話がありました。続いて、千葉県教育庁教育振興部特別支援課長の松田厚氏より、「共催による本



手話通訳付きのフォーラム

フォーラムのテーマや第三次千葉県特別支援教育推進基本計画の重点項目をICTの活用による教育の質の向上として示しており、本フォーラムが果たす役割について意義がある」との話がありました。

第一部では文部科学省初等中等教育局視学官菅野和彦氏が「特別支援教育におけるICT活用への期待」と題して、基調講演を行いました。続いて、千葉県立仁戸名特別支援学校 木内学教諭より「病弱時に対するICTを活用した指導の現状」について具体的な実践例の発表がありました。

第二部のシンポジウムではシンポジスト四名による発表がありました。国立特別支援教育総合研究所情報支援部 織田晃嘉主任研究員からは国立特別支援教育総合研究所の取り組みについて、東金市立正気小学校 三浦晶子教諭からは小学校発達障害の通級による指導を実際に担当している立場からの説明がありました。また、千葉県立市原特別支援学校 高山和也教諭からは知的障害特別支援学校における具体的な取り組みについて話がありました。本学教職研究科 太田裕子教授からは最先端技術のロボット「Orinone(織り姫)」を活用した実践の紹介があり



熱気あふれるシンポジウム

ました。発表後は会場からの質問、チャットによる感想、大学院生の事前の質問などにより、活発な質疑応答が行われた後、閉会しました。

## 全学SD研修会 「ハラスメント研修」

十月七日(金)、全学SD研修会を大学・短大専門学校の教職員を対象にオンライン形式で実施しました。本研修は教育研究活動などの適切かつ効果的な運営を図ることを目的としており、教職員は七一〇一教室の視聴会場や各自の端末から視聴しました。

今回は「ハラスメント研修」と題して、社会保険労務士 法人・行政書士 小野やし事務所の小林浩志氏を講師に招き、さまざまなハラスメントの種類や事例、リスクについて説明を受けました。



小林氏からは近年、ハラスメントが約五十種類に定義される、個別労働紛争相談における職場いじめ・嫌がらせ件数は全体の二〇%超を占めているとの紹介がありました。SOGIハラ、ジェンダーハラスメントやアカデミックハラスメントなどについては事例を踏まえた

解説がありました。また、職場におけるハラスメント対策は未然防止だけでなくとどまらず、その引き金となる無意識の偏見(アンコンシャス・バイアス)や無意識行動(マイクロアグレッション)への注意が必要であり、ハラスメントは企業の信用低下につながる(レピュテーションリスク)と紹介され、従業員間の好意における返報性の法則を生かす職場環境の形成が重要であるとの説明がありました。

本研修は、オンデマンド視聴を含めて全教職員が視聴することとしており、今後も学園組織全体でハラスメント対策に取り組んでいきます。

## 第五十五回 香和会総会・交流会を開催

九月十八日(日)、大学七号館にて第五十五回香和会総会・交流会を開催しました。「コロナを正しく恐れ、工夫して行う」を合言葉に、Zoomを使用したハイブリッド形式の総会も三回目の開催です。当日は、会場参加七十七名、リモート参加三十二名の顧問・教職員役員会員の合計一〇九名が参加しました。

第一部の総会では川崎眞佐代相談役の開会の辞、長江曜子会長の挨拶、顧問代表として川並知子名誉学园长のリモートでの挨拶がありました。続いて、川並弘純名誉会長から「二年連続実就職率全国女子大学一位の



長江曜子会長の挨拶

実績と、教育改革が二十一世紀に生き抜く力を伸ばす」と挨拶がありました。総会は、令和三年度事業、決算書、監査の各報告がされ、令和四年度事業計画案・予算案の議事も承認されました。さらに、川崎眞佐代役員選考委員長より役員選考の経過報告と役員案が発表され、四名の新役員を含め全役員が承認されました。退任された鈴木俊子・森田

節子両副会長には、感謝状と記念品が贈られました。その後、三年ぶりに来場参加した六支部長より支部交流会の取り組みを元気にアピールする挨拶があり、欠席された辻本利枝北海道・東北支部長からのメッセージが紹介されました。

第二部の交流会は、作道副会長からスライドショーと音楽で学園の今を知る「聖徳学園がこんなに大きくなりました」の趣旨説明から始まり、附属幼稚園四園における歴史と現在の教育について川並緒緒園長が話をされました。その後、学園が幼稚園、小学校、中学校・高等学校、専門学校、短大・大学へと大きくなっていく様子をまとめたスライドショーを見て、学園が「和の教育」の伝統と革新を



経て、未来に前進していることを実感しました。最後に、卒業五十年・四十年の参加者へティファニーグラスの贈呈をし、山口副会長による閉会の辞、記念撮影を行い、散会となりました。

令和4年度 香和会 行事予定 支部交流会	
<p><b>南関東支部</b></p> <p>日程 12月4日(日) 13:30~15:30</p> <p>場所 聖徳大学</p>	<p><b>近畿・中国・四国支部</b></p> <p>日程 12月10日(土) 12:00~14:00 (11:30~受付)</p> <p>場所 大阪市 ホテル阪急インターナショナル</p>
<p>(お問い合わせ) 聖徳大学 香和会 TEL/FAX: 047-366-5084</p> <p>E-mail: kouwakai@wa.seitoku.ac.jp</p> <p>※時節柄、中止や変更があります。HPでご確認ください。http://www.seitoku-kouwakai.com/</p>	

香和会では全国の各地区で同窓会を開催しています。卒業生の皆さんのご参加をお待ちしております。

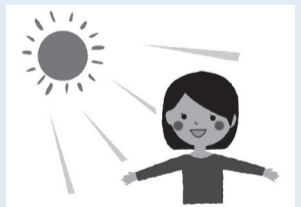
## コロナ禍で、心の相談が増えています



保健センター 所長 だより



新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の出現より三年が経過しようとしています。本年二〇二二年七月にピークを迎えた第七波の影響か、お子さまから大人まで幅広く心の相談が増えています。新型コロナウイルス感染症(COVID-19)により心の不調(うつ傾向)がおきることは、多くの報告より確かめられております。それでは、心の不調を起ささないようにするには、どうしたら、良いのでしょうか？まず、朝起きましたら、日の光を



浴びます。太陽光は、うつを抑える神経伝達物質であるセロトニンを増やすことが確かめられています。日の光を浴びるのは、一日三十分位で十分です。そして体を動かすことを心がけましょう。体を動かすとセロトニンが増えます。セロトニンは、体を動かしてから、五分位から増え始めて、二十〜三十分で最大となります。運動は、リズム運動(インターバル速歩、エアロビクス、太極拳など)が良いと言われています。またセロトニンは、トリプトファンという必須アミノ酸から作られます。タンパク質(魚、肉、卵、大豆など)ビタミン(野菜、果物、ナッツ類)ミネラル(乳製品)などを摂取することも大切です。

冬に予想される第八波に備えて、新型コロナウイルススワクチンの追加接種と、心の健康を保つために、日の光を一日三十分程度体を動かしましょう。

(所長 宮川 三平)



### 募金だより

## 寄付金控除を受けるには「確定申告」の手続きが必要です。

聖徳学園へのご寄付は、文部科学省より寄付金控除の対象となる証明を受けているため、所得税の控除を受けることができます。

個人の方が寄付した場合の控除手続きには、所轄税務署での「確定申告」が必要です。お手元のパソコンやタブレット端末を利用して、国税庁のホームページ「確定申告書等作成コーナー」から、お手続きいただくこともできます。勤務先などで実施される年末調整では、寄付金控除を受けることができませんのでご注意ください。

寄付金の控除は、一月一日から十二月三十一日までに

行った寄付金額の総額で計算するため、額が確定する翌年(二月)に手続きを行います。ご寄付の際に募金課よりお送りしている寄付金受領書や証明書が手続きに必要となりますので、お手元にご用意ください。

受領書の再発行をご希望の場合は、「聖徳へのご寄付について」ホームページの「お問い合わせ先」より承っております。



寄付のご案内HP

## 「聖徳教育芸術振興募金」寄付者芳名一覧

- 職員関係  
一〇〇,〇〇〇円  
山川 智恵子 様
- 匿名希望者合計  
八〇,〇〇〇円
- 合計  
一八〇,〇〇〇円
- 累計  
五六七件一七〇六〇〇、七五二円

## 「聖徳大学香和会五十周年記念奨学基金」寄付者芳名一覧

- 香和会関係  
一〇〇,〇〇〇円  
森田 節子 様
- 合計  
一三〇,〇〇〇円
- 累計  
四三件 三五,二二五,五〇〇円

(注)公開をご希望されない方については、掲載しておりません。令和四年十月末までに寄付が特定できました方を掲載いたします。(なお、お振込の照会に時間がかかり、掲載が遅れる場合がございます。その際には、次号にて報告いたします。)

●お申し込み・お問い合わせ先  
東京聖徳学園 募金課 TEL:047-3605-1111(代)  
ホームページアドレス <https://seitoku-u.ac.jp/donation/>

聖徳 募金 検索

## 幼児教育専門学校

### 三田幼稚園・専門学校 合同運動会

十月一日(土)、本校と聖徳大学三田幼稚園合同の運動会が港区立芝浦小学校の校庭で開催しました。

合同運動会は、一年生にとって大きな学びの場となります。体育の授業を中心に学習を積み重ねながら、事前の打ち合わせを経て、運動会のねらいと自分たちの役割を把握します。

当日は朝礼に始まり、会場準備などの運営に直接携わっていきます。学生たちは、幼稚園教員の動きを直に学びながら、今、自分に



かけっこなどの競技では、学生も進行係として子どもたちの誘導を熱心に行い、同時に子どもたちの発達や力を間近で見られる機会となりました。

運動会終了後、再びトラックへ荷物を積み、校舎へ戻ります。大きな看板やテントなどを運ぶのは大変な力仕事ですが、学生たちは残りの力を振り絞って片付けをしました。運動会は、子どもの発達が最も目に見える機会であること、決して周囲の協力なしには実現できないことであると学生たちは改めて実感しました。

子どもたちの成長を目の当たりにしながら、本校での経験と学びを将来に生かしていけるよう願っています。

### 子どもたちの夢を笑顔の花火を打ち上げよう

十一月三日(木祝)、本校と三田幼稚園合同の恒例行事「聖徳にこに祭り」を開催しました。今回は現校舎での最後の開催となります。

コロナ禍が続く中、密を避けるため、外部非公開とし、午前の部、午後の部の全二回に分けて行いました。

まず学生たちは、校舎内の玄関や階段、廊下の壁面装飾を製作し、新たな楽しい空間に変貌させました。

一年生が担当する「お姉さんとあそぼう」では、一部生は人気キャラクターの形をした的にボールを当てると、手作りお面がもらえる「くつきビンゴ」を行いました。二部生は、すみっコぐらしの散歩をテーマに、手作り飛行機をフラフープ



児童文化研究発表では、授業で学んだ折り紙作品、エプロンシアターの展示をしました。今年度は、「とりのトトロ」をモチーフに大きな紙を使った作品作りが盛り込まれました。猫バスの立体的な迫力に「ここに乗りたくない」と話す園児もいました。また「はじめての紙あそび」では、折り紙コーナーを設け、二年生と園児たちが、羽の動く折り鶴や小鳥、難しい手裏剣作りをチャレンジしました。

学生の発表では、授業で学んだ人形劇、パネルシアター、手あそびなどを披露しました。実際に園児と保護者の前で演じることで、学生たちは普段よりも熱が入り、たくさんの拍手を受け、学びがより深まりました。

児童文化研究発表では、授業で学んだ折り紙作品、エプロンシアターの展示をしました。今年度は、「とりのトトロ」をモチーフに大きな紙を使った作品作りが盛り込まれました。猫バスの立体的な迫力に「ここに乗りたくない」と話す園児もいました。また「はじめての紙あそび」では、折り紙コーナーを設け、二年生と園児たちが、羽の動く折り鶴や小鳥、難しい手裏剣作りをチャレンジしました。

## 光英VERITAS中学校・高等学校

### 第二回光英祭を開催

九月二十四日(土)・二十五日(日)の二日間にわたり、第二回光英祭が開催されました。この光英祭は明和会(生徒会)・文化祭実行委員会を中心となり、準備を進めてきました。また、今回は二日間とも保護者や家族の方々へも公開して行いました。



一日目は探究発表を行いました。全生徒が授業で探究してきたテーマを、個人あるいはグループで発表しました。調査結果や発表資料を駆使して、参観者の前で熱心に発表していきます。この探究発表は、生徒一人ひとりが振り返りを行い、後期の授業に向けて課題を発見し、さらに進歩するト



ルネード・ラーニングの一つの表れにもなっています。二日目は、各参加団体が、これまでに練習・準備してきたことを存分に発揮できる機会となりました。学級で参加した生徒たちは活気溢れる接客をしていました。演技発表を行った団体は、すばらしいパフォーマンスを披露していました。特に、後夜祭では六年生(高3)が企画した発表が好評でした。また、音楽科の演奏発表は、大変感動的でした。

この光英祭を通じて、学級・学年だけでなく、学校全体としての協調性が培われました。コロナ禍にあっても、思うように進められないこともありましたが、来年度の光英祭をさらに充実させ、多くの方が来校するよう努めていきます。

### 令和四年度 秋季スポーツ大会

十月八日(土)、令和四年度第二回目となる秋季スポーツ大会が行われました。二年生のスポーツ大会は、春に球技などの集団的スポーツ、秋は陸上競技などの個人的スポーツを実施しています。今回の秋季スポーツ大会はグラウンドコンディショニングの不良により、第一体育室で実施しました。高校生は「クラス対抗全員リ

来年度は、新校舎での開催となります。参加した方々の笑顔と楽しかった心の触れ合い体験が、今後につながって行きます。



来年度は今年の反省点を生かし、さらに充実したスポーツ大会になるよう、そして本校の中学生と高校生が互いに切磋琢磨し心と体が大きく成長する姿を期待しています。



### 取手聖徳女子中学校・高等学校

## 中学校音楽コース・高等学校音楽科の活躍

十月一日(土)、牛久市のエスカードホールにて、中学校音楽コース・高等学校音楽科第三十五回定期演奏会を開催しました。

八月に実施したオーディションに合格した生徒による独奏・独唱のほか、学年ごとの女声合唱もプログラムに盛り込み、華やかな演奏会となりました。ステージでは、日頃の練習の成果と、音楽に対する情熱を十分に発揮することができました。そして演奏会は、音楽コース・音楽科生徒全員による合唱で幕を閉じました。マスクをつけてとはな



### 第四十回 聖徳祭

十月十五日(土)・十六日(日)の二日間にわたり「第四十回聖徳祭」を開催しました。

開催にあたっては、来校者でもコンクールに積極的に挑戦しています。第三十二回クラシック音楽コンクールでは、声楽・ピアノ・ユーフォニアムの各部門で計七名の生徒が本選を通過し、十二月の全国大会に出場します。また、日本トロンボーンコンペティションでは奨励賞を受賞するなど、優秀な成績を収めています。今後も真摯に音楽と向き合い、生徒、教員ともども、中学校音楽コース・高等学校音楽科の活動を一層盛り上げていきます。

者は同居の家族限定として実施し、アフターコロナに向け一歩前進しました。

今年度のテーマは「祭色兼美」本来の活気ある祭の姿を取り戻したい。また、校風やクラス、自分自身のカラーを精一杯表現したい。

そんな生徒一人ひとりの熱い思いが込められています。当日、生徒玄関では華やかに彩られた提灯がお客様を明るく迎え、書道パフォーマンスによる筆力溢れるスローガンが大いに雰囲気盛り上げました。ステージ発表では、この日に向けて練習を重ねてきた歌やダンス、演奏発表が行われ、年々レベルアップしているパフォーマンスはいずれもレベルが高く、観客を大いに楽しませました。また「六学年(高三)による



卒業研究発表会」も開かれ、本校が取り組んでいる探究活動の成果が発表されました。

聖徳祭実行委員会と明和会(生徒会)が中心となつて準備を進めてきた聖徳祭各々のアイデアやパフォーマンスを存分に発揮し、楽しく充実した二日間となりました。

## 附属小学校

### 三年ぶりの聖徳祭舞台発表

十月十五日(土)・十六日(日) 一・二・三・四・五・六年生

「つみあげよう ひろげよう ほくたち・わたくしたちの校風と伝統を」をスローガンに全校児童参加の聖徳祭舞台発表を三年ぶりに開催しました。

今年もスローガンにある「つみあげようひろげよう」を感じる

ことができたのは、前半は二・四・五年生の順番で発表し、お互いに参観します。明和班(一年生から六年生の縦割り班)の友達が、どん



な発表をするのか、自分が二年生だった時の発表を思い出しながらワクワクした表情で興味津々の児童たちです。発表の前に「静かにしましょう」の言葉は必要ありません。下級生の素晴らしい発表が「次は自分ががんばろう」と上級生の気持ちを持ち、後半の一年生から六年生の発表が「校風と伝統」は確実に引き継がれています。

### 五年生 和太鼓演舞『剣雷の舞』

聖徳祭の舞台発表において五年生は和太鼓演舞を行いました。児童たちは一から和太鼓の口伝を作り、音を重ね合わせ一つの作品に

表も素晴らしいものでした。一年生が班長を探す姿は、ちろん、班長が一年生を探す姿も微笑ましいものでした。班長の演奏する姿を見て「六年生になったら自分も班長と同じ楽器を演奏したい」と思った一年生もいるようです。

他学年とのつながりから、さらに積み上げ磨きをかけて迎えた本番では保護者からの盛大な拍手からも大成功を感じることが出来ました。「校風と伝統」は確実に引き継がれています。

と渡れたかなあなどと話をしています。また、警察官より「道路での四つの約束」として、「①すぐに飛び出さない、②右左右を見て、手を大きくあげて渡る。体が小さいので大型車両からでも大きくアピールすることが大切、③信号を守る、④道路はみんなのものだから、キックボードやスケートボードなどでは遊ばないこと」が園児たちに分かりやすく伝えられ、「家に帰るときから体験ができる」とお話がありました。

するといふ難しい課題にチャレンジしました。一学期、音楽の授業で和太鼓の口伝作りを始めました。各グループで工夫しながらフレーズを考え、授業の中で発表し、さらに組み合わせを考えていきました。二学期から始まった練習でも、試行錯誤を繰り返しながら音を重ね、自分たちの表現にもさらに磨きをかけ、作品を完成させました。



退場していき、選ばれました。票名には「剣のように鋭く、雷のような熱い情熱を表現して舞い踊る」という思いが込められています。当日、児童たちは練習のすべてをぶつけ、全力で太鼓を叩いていました。題名のように、鋭く情熱のこもった美しい舞を披露し、会場は拍手喝采でした。その拍手の中、花道を通り退場していき、園児たちは顔は、とても清々しいものでした。今回の舞台は、彼らのかけがえのない経験となりました。

## 幼稚園短信

聖徳大学三田幼稚園

交通安全教室に参加しました

十月二十日(木)、一年一回の交通安全教室が行われ、「公共の場でのマナーを知ろう」というねらいのもと、三田警察署交通局の警察官より指導を受けました。全クラスを半分にして、一グループ目は保育室で「むしむし村の交通安全」というDVDを見て、二グループ目は信号の見方と横断歩道の渡り方を実際に学びました。一グループ目は、道路にガードレールがない場所(路側帯)での歩



き方や、傘をさしている時の歩き方などが分かりやすかったようで、園児たちは真剣に見ていました。二グループ目では、横断歩道のシートと信号機を園庭に設置し横断歩道の渡り方を体験しました。園児たちは横断歩道と信号機を前に、緊張した表情を見せており、「ドキドキしたね」「ちゃん

### 三年ぶりの広いグラウンドでの運動会

十月八日(土)、三年ぶりとなる第四十九回運動会を東京工業高等専門学校学校のグラウンドで開催しました。

前日まで大雨に見舞われ、開始時刻を一時遅らせたものの、早朝より保護者や父母の会幹事の方々の協力



により、子どもたちの安全を第一に考えてグラウンド整備を行い、無事に運動会を開催することができました。課外教室の子どもたちは保護者と一緒に体操、かけっこに参加し、満三歳児クラスは初めての運動会にドキドキしながらもかけっこや、果物に変身して笛の合図で体の向きを変えたり、しゃがんだりジャンプしたりして遊戯を楽しみました。年少組の遊戯ではクレヨンになつて行進や隊形移動、大きな掛け声を響かせ元気いっぱい踊りました。年中組は恐竜の時代へタイムスリップし、斜めの隊形移動やグループで集まったりして力強く踊りました。玉入れでは夢中に玉を拾って投げ、姿に「勝ちたい!」という思

いが強く伝わってきました。年長組は組体操やバレーン、五月から取り組んできた縄跳びを披露し沢山の拍手を受けました。クラス全員で、他学年の子どもたちの刺激となり、真似をして体を動かし一緒に参加している気分になっていました。今年度の運動会は、人数制限を設けなかったため全学年の成長を保護者が見ることができました。子どもたちの真剣で生き生きとした姿を見ることができ、子どもたちにとっても他学年から良い刺激をもらい、主体的に挑戦する姿が見られ、とても良い経験となりました。



### 聖徳大学多摩幼稚園 タマネギを利用して 染め物をしました

十月の終わりに五歳児松組がタマネギの皮を利用して染め物遊びを行いました。保護者の協力により、多くのタマネギの皮が集まりました。「初めてタマネギの皮を剥くお手伝いをしたよ」「お母さんと一緒に集めたよ」と家庭でのお手伝いについて話す園児も見られました。準備では「本当にタマネギの皮で色がつかのかな?」と半信半疑な子どもたちでしたが、ハンカチにビー玉や割りばしを輪ゴムで止めていく中で「どんな色に染まるのかな?」「どんな模様ができるのか楽しみ」と期待を膨らませていました。



染める日には、タマネギの皮を煮た鍋を見て「すごい色!」と大はしゃぎな園児たち。段々と染まってきたハンカチを見て「洗濯したら落ちちゃうのかな?」「模様はどうなっているのかな?」と感じたことを友だちと話をしながら様子を見た。声も嬉しそうでした。

タマネギの皮という普段捨ててしまう物が染め物として再利用できることを知り、「ニンジンでも、リンゴでも色がつかのかな?」と皮であれば染まるのではないかと考えるのかという不思議に思う気持ちも持てたようです。今後子どもたちの豊かな好奇心や思考力の基礎を大切にしていきます。

### 聖徳大学附属成田幼稚園 三年ぶりに全園児 で秋季大運動会

十月一日(土)、三年ぶりに全園児で秋季大運動会を開催しました。保護者の参観は一名に限定し行いました。当日は、全園児での開催を祝福しているかと思う程の晴天でした。園児たちは「今日、ママが見に来るね」「パパが来るよ」と楽しみにしているようでした。また、保護者の方々も笑顔でいらっしやいました。

満三歳児パンダ組は、初めての運動会で、小さな体を一所懸命動かしながら、かけっこをしたり、遊戯を踊ったりする姿がとても可愛らしく見えました。三歳児桜組は、曲に合わせて遊戯を躍ったり、丸、三角、四角を分類する競技をしたり、友達と一緒に活動する楽しさを味わっていました。四歳児梅組は、クラス対抗で玉入れやリレーを行い、クラスの意識が高まりました。五歳児松組は、幼稚園最後の運動会で、意欲的に活動していました。特に「マステーム」かぜのようせいでは、手をつなぎ十字をつくって旋回したり、スカートで風を表現したりとさすがに年長組という姿が見られました。運動会で一番の盛り上がりを見せたのは、五歳児松組全員を三チームに分けたチーム対抗リレーです。真剣な表情で思いっきり走り、バトンをつなぎました。勝って喜ぶ姿、負



けて悔しがらる姿には、感動を覚えました。青空に負けない位の笑顔で降園していく園児と保護者の方々を見て、改めて行事の大切さを感じた一日となりました。

### 聖徳大学附属第二幼稚園 秋季大運動会

十月十二日(水)、十月十七日(月)、園庭において秋季大運動会を開催しました。

今年度は、予定されていた日程が雨となり、延期された日も小雨が降る状況でした。園児の気持ち、そして保護者の思いを考えながらプログラムの内容を変更することで無事に終えることができました。保護者の方々にも子どもたちの頑張りを認めてもらい理解して頂けたからこそ実施できた運動会でした。



と一緒の手をつなぎ一つの円を作ることもできました。四歳児梅組は、斜めの線を理解して並び、友達と掛け声をかけながら音楽に合わせて表現する事ができました。そして、五歳児松組は困っている友達がいたら助けかけてあげ、自分たちが使っ

た用具は片付けるなど、運動会当日までの姿に大きな成長が見られました。運動会のマステームにおいても松組としての自信と誇りを持ち堂々と演じることができました。青空の下ではありませんでしたが、最後まで頑張ろうとする意欲、友達と一緒に作り上げる力、頑張った後の達成感など教育的な成長が感じられる運動会となりました。今後も幼稚園での生活を通し、園児一人ひとりが何事に対しても「やろうとする力」を持ち、主体性を高められるような環境づくりを進めてまいります。

### 聖徳大学附属浦安幼稚園 園外保育に 行きました

本園では、秋の自然に親しめるように、毎年浦安市内の公園へ園外保育に行きます。幼稚園の近隣には地域ごとに、大小様々な工夫を凝らした公園が多くあり、環境に恵まれています。

十月三日(月)、満三歳児パンダ組は幼稚園のすぐ隣にある「日の出第三街区公園」に行きました。初めての園外保育に子どもたちは朝から大はしゃぎでした。十月四日(火)、三歳児桜組は幼稚園から歩いて二十分ほどの「日の出おひさま公園」に行きました。この公園は公園名を市民からの一般公募で決められ、その当時在園していた梅組園児が考えた「おひさま公園」が選ばれたというエピソードがあります。自分たちで作



三歳児桜組が電車ごっこをしている様子



### 聖徳大学附属幼稚園 よみがえる 幼稚園園歌

『幼稚園園歌』ってどんな歌? コロナ禍で感染防止のため控えていた歌唱。戸外で表現できる運動会において、三年ぶりに全園児で園歌を歌うことを決め、幼稚園内に子どもたちの歌声が戻ってきました。

最年長の五歳児松組にとって、この二年はなかなか歌う機会がなかった園歌。全園児が自信を持って歌えるように、今回はメロディと一番の歌詞「清い」が子どもの頭の歌詞「清い」が子どもの耳には「黄色い」と聞こえるように、言葉の意味を繰り返して伝えました。次第に子どもたちが自然と園歌を口ずさむように。本園の時間を知らせるチャイムは園歌が流れるようになっており、メロディに合わせて元気に「聖徳学園幼稚園」と歌う声も聞こえてきます。これはコロナ前にはなかった現象であり、子どもたちもずっと園歌を歌いたかったようです。

幼稚園隣の大学グラウンドでのリハーサル。色鮮やかに並ぶ十二色のクラスカラー帽子。全園児の元気な歌声が響き渡ると胸が熱くなりました。しかし、残念ながら保護者の方にも届かなかった歌声は運動会雨天延期のため、次回のお楽しみへと持ち越されました。少しずつ子どもたちの笑い声と共に歌声がよみがえってきました。今年度は現状できる楽しみ、喜びを見つめ、考えられる最善を尽くす前向きな教育を目指しています。元の生活を望むのではなく、これからの新しい聖徳幼稚園を築いていきます。

「幼稚園園歌」  
きよいけだかい  
きくすいの  
しるしをむねに  
わたしたち  
かようよけくも  
げんきよく  
せいとくがくえん  
ようちえん



令和5年度 大学院(春学期入学) 入試日程【通学課程】

聖徳大学大学院通学課程[共学/昼・夜開講] 博士後期課程(一般入試、社会人入試、研究生入試) ☆児童学研究科、臨床心理学研究科、言語文化研究科、人間栄養学研究科、音楽文化研究科

Table with 3 columns: 日程区分, 願書受付期間, 入試日. Rows include B日程\*1, B日程\*2, C日程.

B日程\*1: 臨床心理学研究科を除く B日程\*2: 臨床心理学研究科のみ

博士前期課程(一般入試、社会人入試、研究生入試(留学生以外)) ☆児童学研究科、臨床心理学研究科、言語文化研究科、人間栄養学研究科、音楽文化研究科

Table with 3 columns: 日程区分, 願書受付期間, 入試日. Rows include B日程\*1, B日程\*2, C日程.

B日程\*1: 臨床心理学研究科を除く B日程\*2: 臨床心理学研究科のみ

博士前期課程(私費留学生特別入試、研究生入試(留学生)) ☆児童学研究科、臨床心理学研究科、言語文化研究科、人間栄養学研究科、音楽文化研究科

Table with 3 columns: 日程区分, 願書受付期間, 入試日. Rows include B日程\*1, B日程\*2, C日程.

B日程\*1: 臨床心理学研究科を除く B日程\*2: 臨床心理学研究科のみ

専門職学位課程(一般入試、社会人入試、現職教員特別入試) ☆教職研究科

Table with 3 columns: 日程区分, 願書受付期間, 入試日. Rows include B日程, C日程.

令和5年度 大学院(春学期入学) 入試日程【通信教育課程】

聖徳大学大学院児童学研究科通信教育課程 博士前期課程

Table with 3 columns: 区分, 出願期間, 入試日. Rows include 春学期入学A日程, 春学期入学B日程.

博士後期課程

Table with 3 columns: 区分, 出願期間, 入試日. Row includes 春学期入学.

令和5年度 入試日程【通学課程】

聖徳大学(女子)/聖徳大学短期大学部(女子)【総合型選抜】

Table with 3 columns: 入試区分, 出願期間, 入試日. Rows include D日程\*, E日程\*.

※看護学部は実施しない

【学校推薦型選抜】

Table with 3 columns: 入試区分, 願書受付期間, 入試日. Row includes 公募制(後期)\*.

※看護学部は実施しない

【一般選抜】

Table with 4 columns: 入試区分, 日程, 願書受付期間, 入試日. Rows include 一般選抜\*1, 大学入学共通テスト利用選抜, 一般選抜, 大学入学共通テスト利用選抜, 一般選抜, 大学入学共通テスト利用選抜, 実技特別選抜入試.

※1: サテライト試験場も設ける(詳細は要項等を参照)

【編入学・専攻科入試】

Table with 4 columns: 入試区分, 日程, 願書受付期間, 入試日. Rows include 一般入試, 内部推薦入試, アスリート・セカンドキャリア支援特別奨学推薦入試, 一般入試, 内部推薦入試, アスリート・セカンドキャリア支援特別奨学推薦入試.

※看護学部は実施しない

【留学生入試・帰国子女入試・社会人入試・アスリート入試】

Table with 4 columns: 入試区分, 日程, 願書受付期間, 入試日. Rows include 私費留学生特別入試\*1, 社会人特別入試\*2, アスリート・サポート特別奨学推薦入試\*2, アスリート・セカンドキャリア支援特別奨学推薦入試\*2.

※1: 教育学部児童学科(夜間主)、教育学科(夜間主)、看護学部、短期大学保育科第二部は実施しない ※2: 看護学部は実施しない ※3: 看護学部は、社会人特別入試A日程・B日程のみ

聖徳大学幼児教育専門学校(女子)【AO入試(総合型選抜)】

Table with 4 columns: 入試区分, 日程, 願書受付期間, 面談日. Row includes AO入試(総合型選抜).

【推薦入試・特別入試】

Table with 4 columns: 入試区分, 日程, 願書受付期間, 試験日. Rows include 公募推薦入試, 保育所・幼稚園園長推薦入試, 同窓会推薦入試, 大学生・短大生(含専修学校)特別入試, ダブルスクール特別入試, 社会人特別入試.

【指定校推薦入試】

Table with 4 columns: 入試区分, 日程, 願書受付期間, 試験日. Row includes 指定校推薦入試.

【一般入試(一般選抜)】

Table with 4 columns: 入試区分, 日程, 願書受付期間, 試験日. Rows include 一般入試(一般選抜).

光英 VERITAS 中学校・高等学校(共学)

Table with 4 columns: 対象, 入試区分, 願書受付期間, 入試日. Rows include 第一志望入試, 第一回入試, VERITAS英語入試, VERITAS理数特待選抜入試, 特待選抜入試, 第二回入試, 第三回入試, 特待選抜入試, 推薦入試, 一般入試①②, 一般入試③.

聖徳大学附属取手聖徳女子高等学校

Table with 4 columns: 対象, 入試区分, 願書受付期間, 入試日. Rows include 推薦入試, 一般推薦, 探究型推薦, 陸上推薦, 吹奏楽推薦, 一般入試, 併願推薦型入試, 兼 学力特待選考(I)・(II), 帰国子女入試(I)のみ.

聖徳大学附属小学校(共学)

Table with 4 columns: 入試区分, 願書受付期間, 入試日. Rows include III期入試, IV期入試, 編入(1学期~).

★詳細は、各校の募集要項でご確認ください。

学校説明会関係行事のご案内

通信教育部(大学院・大学・短期大学部 共学) お問い合わせ: 047-365-1200(直通)

- オンライン入学説明会(予約制) 令和5年 ▶1月8日[日] ▶2月5日[日] ▶2月19日[日]
オンライン入学個別相談(予約制) ▶12月10日[土] ▶12月11日[日] ▶12月18日[日]
令和5年 ▶1月14日[土] ▶1月15日[日] ▶1月21日[土] ▶1月28日[土] ▶1月29日[日]

聖徳大学幼児教育専門学校(女子) お問い合わせ: 03-5476-8811(代)

- ショートオープンキャンパス ▶12月17日[土] 10:00~ 令和5年 ▶1月28日[土] 10:00~ ▶2月25日[土] 10:00~
夜の進学説明会 ▶12月8日[木] 18:00~ 令和5年 ▶1月12日[木] 18:00~ ▶3月1日[水] 18:00~
進学説明会 ▶12月3日[土] 13:00~ 令和5年 ▶2月4日[土] 13:00~

光英 VERITAS 中学校・高等学校(共学) お問い合わせ: 0800-800-8442(入試広報室直通)

- 学校説明会 中学校 令和5年 ▶2月18日[土] ▶3月11日[土]
(小学生4・5年生対象 学校説明会) 9:30~11:30 9:30~11:30
入試説明会 中学校 ▶12月10日[土] 9:30~11:30 令和5年 ▶1月8日[日] 9:30~11:30
高等学校 ▶12月3日[土] 9:30~11:30
個別相談会 中学校・高等学校 ▶12月24日[土] 9:30~11:30 ▶12月25日[日] 9:30~11:30

聖徳大学附属取手聖徳女子高等学校 お問い合わせ: 0297-83-8111(代)

- 受験対策相談会 ▶12月3日[土] 9:30~11:00 ▶12月10日[土] 9:30~11:00
未来校者対象説明会 ▶12月17日[土] 9:30~11:30
中学1・2年生対象 学校説明会 令和5年 ▶2月18日[土] 9:30~11:30 ▶3月11日[土] 9:30~11:30
音楽レッスン・シリーズ(無料レッスン) ▶12月3日[土] ▶12月17日[土] 令和5年 ▶2月25日[土]

読者の声

ご意見・ご感想の宛先
学園広報誌聖徳フラッシュをお読みいただき、ありがとうございます。
今後も内容の充実と努めてまいりますので、ぜひ皆さまのご意見・ご感想をお寄せください。
(郵送) 〒271-8555 千葉県松戸市岩瀬550 東京聖徳学園「聖徳フラッシュ」係まで
(インターネット) https://www.seitoku-u.ac.jp/inquiry/

学校法人 東京聖徳学園 聖徳フラッシュ 第123号 発行人/川並 弘純 編集/総務課 〒108-0073 東京都港区三田3-4-28 TEL.03-5476-8811(代) 22.12.1 ret (13.7)

※詳細につきましては、各校にお問い合わせください。

聖徳大学附属小学校(共学) お問い合わせ: 047-392-3111(代)

新年長・年中保護者対象2024学校説明会(予約制) 令和5年 ▶1月21日[土] 10:00~11:30

信州佐久 春日温泉 自然体感リゾート かすがの森 白樺高原国際スキー場 営業期間: 令和4年12月下旬 ~ 令和5年3月 問合せ先: 0267-55-6000

セイトク®の派遣会社だから安心 派遣登録募集中!! 幼稚園教諭、保育士、一般事務 お気軽にご連絡ください セイワコーポレーション 東京都港区虎ノ門1-1-20 0120-525-126 般13-300726 13-ユ-300913

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の感染拡大が懸念されています。 本紙に掲載しているイベント・行事については、今後中止・延期になる場合があります。 事前に各学校や園にお問い合わせをお願いいたします。